

日本救急医療財団の活動報告

平 賢二 事務局長

2020年2月中旬から4月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

1. 常任役員会開催について

3月2日(月)15時00分より財団会議室において、常任役員会が開催されました。議題は、①令和元年度収支予算書(変更案)、②令和2年度事業計画及び収支予算書(案)、③「第17回評議員会開催」に係る決議及び報告事項について審議されました。

常任役員会終了後「第43回救急救命士国家試験新型コロナウイルス感染症対策会議」を開催した。「新型コロナの感染が発生した場合の対応として、受験生への感染リスクの確認と申告があった場合別室で受験させる。」「①風邪の症状や37.5度以上の熱が4日間以上続く、②強いだるさ、息苦しさがある症状の者を対象とする。」「別室は各会場2室を確保している。」「別室では間隔をあけた配置とする。」「(受験生へのお願いについて)を各試験会場の本部に置き、極力言葉を交わさずに該当者の別室受験確認について説明する。希望によりマスクを支給する。ことの説明があった。別室受験の同意がない受験者は、一般受験室での受験とする。第43回救急救命士国家試験を全体として安全・安心を与えるように実施する。

2. 第17回理事会開催について

3月13日(金)13時40分より東京ガーデンパレスにおいて第17回理事会が開催されました。議長には、定款第37条により行岡哲男理事長があたり、議事録署名人には、定款第44条第2項により出席の池田ひろみ、植月道雄監事があたることを確認しました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

- (1) 令和元年度収支予算書(変更案)について
- (2) 令和2年度事業計画及び収支予算書(案)について
- (3) 第17回評議員会開催について

<報告事項>

- (1) 評議員の任期満了
- (2) 理事長、副理事長、常務理事の選定
- (3) 第18回理事会の招集
- (4) 第43回救急救命士国家試験の応募状況
- (5) 令和元年度病院前医療体制充実強化事業
- (6) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任
- (7) その他

- ・公益目的収支計算書
- ・職員の異動

令和元年度収支予算書(変更案)、令和2年度事業計画及び収支予算書(案)、第17回評議員会開催(令和2年6月16日(火)、14時00分から15時30分、於東京ガーデンパレス)の決議がされた。

また、報告事項として、評議員の任期満了、理事長、副理事長、常務理事の選定、第18回理事会の招集、第43回救急救命士国家試験の応募状況、令和元年度病院前医療体制充実強化事業、任期満了に伴う各種委員会委員の選任、その他(公益目的収支計算書、職員の異動)について報告があり、了承された。

3. 第16回評議員会開催について

3月13日(金)15時30分より東京ガーデンパレスにおいて評議員会が開催されました。

議長には、定款第20条により相川直樹評議員が互選され、議事録署名人には定款第27条第2項により松田周三評議員と山本保博評議員が選出された。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

なし

<報告事項>

- (1) 令和元年度収支予算書(変更案)について
- (2) 令和2年度事業計画及び収支予算書(案)について
- (3) 第17回評議員会開催について
- (4) 評議員の任期満了について
- (5) 理事長、副理事長、常務理事の選定について
- (6) 第43回救急救命士国家試験の応募状況について
- (7) 令和元年度病院前医療体制充実強化事業について
- (8) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任について
- (9) その他
 - ・公益目的収支計算書について
 - ・職員の異動について

報告事項として令和元年度収支予算書(変更案)、令和2年度事業計画及び収支予算書(案)、第17回評議員会開催、評議員の任期満了、理事長、副理事長、常務理事の選定、第43回救急救命士国家試験の応募状況、令和元年度病院前医療体制充実強化事業、任期満了に伴う各種委員会委員の選任、その他(公益目的収支計算書、職員の異動)について報告があり了承された。

また、藤本評議員より当財団の役員は70歳で定年とする規定があり、評議員も出来れば意向確認ではなくて、「定年制を引いてそこまでお願いする。」ことでいかがとの意見が出され、評議員の選任は評議員会であり次回の評議員会も今回の構成員となるので今回欠席の評議員に今回の議論を周知し、これを議題とするか、定款の変更をするか、何処まで決めるのかを含めて当財団の発展のため検討のうえ開催する。評議員会の開催は1/2以上の出席で成立、定款の決議は出席評議員の2/3以上の賛成が必要となるので、次回の評議員会の出席者数も考慮して開催する。

研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

1. 非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会について

令和 2 年 3 月 12 日（木）に、東京ガーデンパレスにおいて、非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会（委員長：坂本哲也）が開催され、「AED の設置基準に関する作業部会」及び「AED の内部データ利用・検証に関する作業部会」から活動状況等について報告されました。

また、AED 設置登録情報の有効活用について、「AED 設置登録情報等に関する小委員会」から 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた財団全国 AED マップの活用（スマートフォンアプリの配信、多言語対応の進捗）について内容が報告されました。

試験部門に関する報告

徳竹 伸重 試験免許部

1. 第 4 3 回救急救命士国家試験実施状況

3 月 8 日（日）に全国 5 試験地（北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施しました。

受験申込者は 3,009 名で、そのうち 2,960 人が受験し、2,575 人が合格しました。（合格率は 87.0%）

合格者の発表は、3 月 31 日（火）午後 2 時に厚生労働省及び財団のホームページ受験地、受験番号を掲示して発表するとともに、国家試験における採点除外等の取扱いとした問題、国家試験問題の正答肢を掲載しました。

また、受験者全員に成績通知書（合格者には合格証書）を郵送しました。

合格者の救急救命士名簿登録は、各人の申請に基づき救急救命士免許証を交付することとなっております。